

公立の認定こども園・保育所においては現状を分析し、今後の教育・保育に役立てる取組をしています。  
職員に求められる資質・安全管理・健康支援・環境・衛生・安全管理を抜粋し表記しております。

	職員に求められる資質	安全管理	健康支援	環境・衛生・安全管理
精道こども園	多くの職員が、仕事に誇りをもち、アドバイス等を前向きにとらえている。 ・勤務内容を振り返り、自己評価を行うことで、課題を感じている職員がいるため課題に積極的に取り組み、質の向上に繋げていく。	危機管理マニュアルについて、マニュアルを再確認することを周知した。災害時の避難方法や経路について、全職員が把握できるよう、災害訓練を様々な時間帯で行い、より多くの職員が参加できるようにしていく。	・怪我や嘔吐処理等について園内研修を行い、感染症対策について学ぶ機会を設け、健康支援に繋げていく。 ・学校保健安全法やガイドラインなどに記載されている内容について、把握していないことがあるため、そのような場合は、法令等を確認していく。	・室内温度や湿度について常に留意し、換気等をこまめに行い、感染症等の対策を行う。 ・日頃より、清潔な環境を保つことについて、意識している職員が多いため、こまめな清掃や消毒を引き続き、行う。
西藏こども園	クラス、学年間では、教育・保育について話し合えることができている。後半に向けて、こども園全体で共有することを共通確認し、さらなる保育の質の向上に努めていく。	・多様な勤務時間帯での勤務体系であるため、避難訓練が未経験の職員が見られる。記録の回覧や口頭で連携を取り周知していく。 ・避難用具等の位置、使い方やマニュアルの確認を定期的に行う。	・子ども一人一人の健康状態を職員が看護師と連携を取りながら把握に行っている。 ・法令、マニュアル等を再確認し、健康支援についてそれぞれの認識を実効性あるものできるよう努めていく。	・温度計・湿度計を利用して最適な状態をこまめに確認している。 ・感染症への対応や処置の仕方を職員間で再確認する。とくに新型コロナウイルス感染症については、国や市からの基本的対処方針を随時確認し、対応する。
岩園保育所	職員が仕事に誇りをもち、意欲的に取り組んでいる。経験の浅い職員は仕事の効率化について、今後の課題としていく。様々な業種、立場の職員が、コミュニケーションを積極的に計りながらよりよい職員集団を構築し、質の向上に努めていく。	毎月の避難訓練ではその場で職員が振り返りを行い、共通確認ができている。時差勤務や朝夕の会計年度任用職員も避難訓練に参加できるように様々な時間帯で訓練することが必要である。他職種の職員にも避難経路の周知が必要。	夕方の保育担当交代時には人数や体調等を伝達し、共有の連絡簿を活用し、記録漏れのないようにしている。園外に出る際は口頭での伝達が多いため、職員間で確実な形で共有できる方法を考えていきたい。怪我の対応や嘔吐処理等、保育士もしっかり身につけておく。	どの職種の職員もそれぞれの立場から清潔で安全な環境の整備に努めている。季節によって流行する感染症もあるため、それぞれの時期に適した対処法を共有することが必要である。
緑保育所	・多くの職員が誇りをもって仕事に取り組むことができている。 ・会計年度職員も含めコミュニケーションをより図り、共に勤務内容を振り返り質の向上に努めていく。	正規、会職ともに災害時の通報の仕方や、不審者対応等、不安に感じる項目がある。特に、朝、夕の職員が少ない時や新年度時は丁寧に訓練を行い、振り返り、確認を行っていく。	学校保健安全法などの法令やガイドライン等、いつでも確認することができるよう、設置場所等、周知する。	感染症への対応についてその都度、掲示し、周知を行う。